

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年2月14日

公表: 令和6年3月28日

事業所名 放課後等デイサービス にじいろLOHASPO

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0		
	2	職員の配置数は適切である	7	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	外部講師を招聘して毎月1度、職員研修を実施しています。	
適切な支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	SM社会能力チェックを年に1度、誕生日月に実施しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	毎月1回、「所内運動会議」を行い、当月の振り返り、翌月のカリキュラムの話し合いをしています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	毎月1回、「所内運動会議」を行い、当月の振り返り、翌月のカリキュラムの話し合いをしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	休日や長期休業中においては事前に午前、午後の活動を計画して、個々の利用者の課題に即した支援を心がけています。	

の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	毎朝、朝礼時に前日の振り返り、当日の支援内容を話し合っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	当日に送迎等でできなかった場合は、翌日の朝礼において行なっています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0		
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	個別支援計画作成時以外にも、モニタリングの共有について、所内職員で丁寧に行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	0	必要に応じて、医療機関との話し合いに参加をしています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	0	地域のキャリアセンターと連携をして卒業後の支援を繋いでいます。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	1		今後は、イベント活動などを通じて、交流の場を設けていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	送迎時において職員が当日の様子を伝えています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	0		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	見学時に児童発達支援管理責任者が丁寧に説明を行った上で契約を取り交わしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0	半年に1度を目安に開催して、保護者との交流の場を設けています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	打ち合わせ記録を毎回ノートへ転記しています。
	35	個人情報に十分注意している	7	0	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	重要な情報等は、児童発達支援管理責任者が電話又は対面にて情報の交信をしています。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	0	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	各種マニュアルを所内に掲出しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	年度2回実施する法定消防訓練以外にもイベントなどを用いて、防災の知識を深める機会を設けています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	毎年虐待防止の研修及び月に1度「虐待防止ならびに身体拘束適正化検討委員会」を開催しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	個別支援計画に記載をして、保護者の方から同意を得ています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	エピペンの使用方法等の研修を行なっています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	ヒヤリハットについては、所内で速やかに作成、閲覧ができる場所に用意をしています。